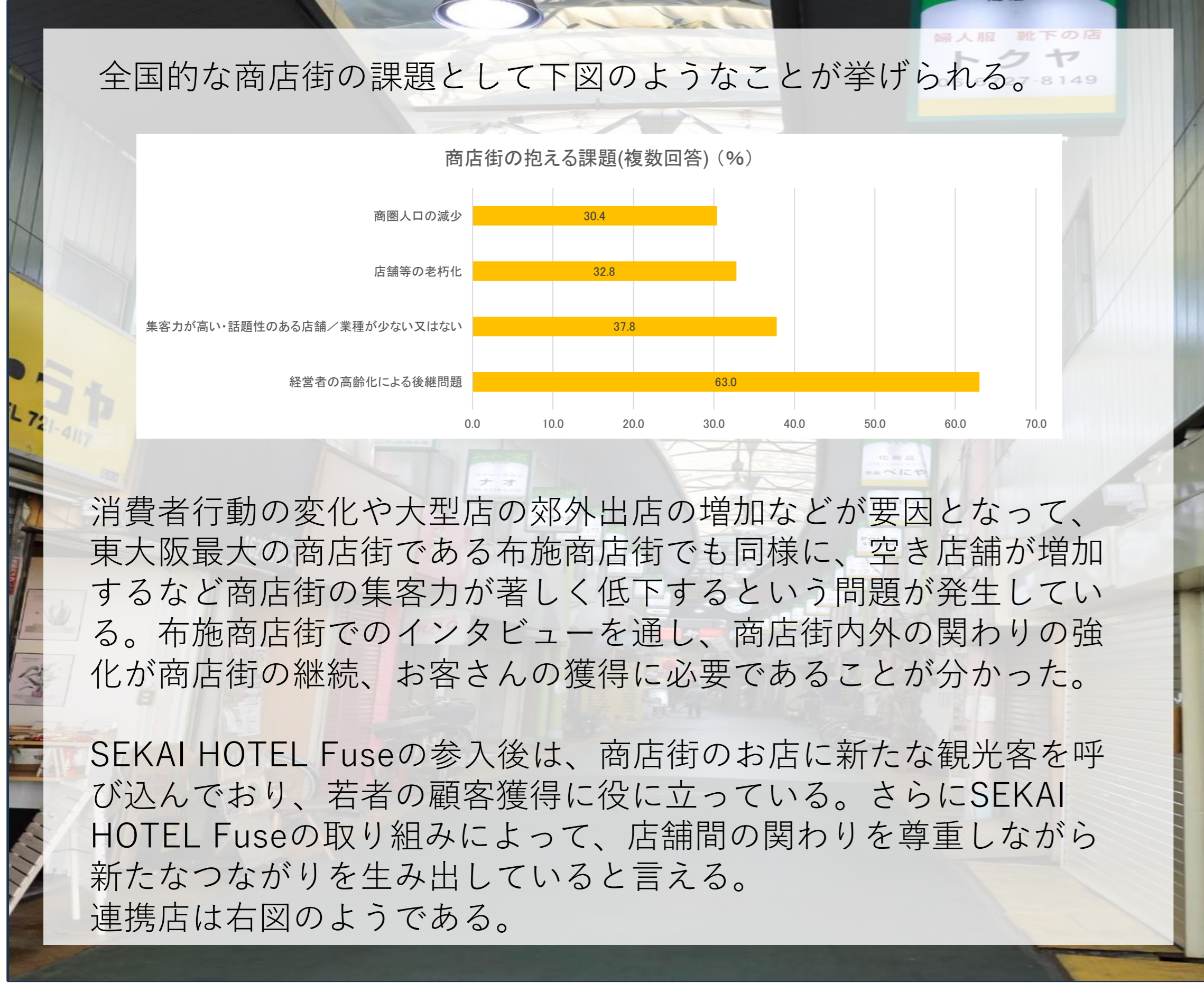


### SEKAI HOTELとは…?

SEKAI HOTELは、大阪の布施と富山の高岡に展開されているホテルで、それぞれのホテルにコンセプトがある。今回、フィールドワークを行ったSEKAI HOTEL Fuseは、「初めて来る場所のはずなのに、どこか懐かしい感じがする。ここは大阪の下町感あふれるまち並みの中で、布施で暮らす人々のあたたかさや人柄に触れながら滞在できるホテルです。客室はまちに点在する古家をリノベーションした“泊まれる町工場。”(SEKAIHOTEL公式サイトより)をコンセプトに、布施の商店街の日常に馴染んだ体験を提供している。またSEKAI HOTEL Fuseはホテル事業としてだけではなく地域振興としても大きな役割を果たし、商店街の課題解決に貢献している。しかし、昔ながらの商店街に急に新しいホテルが参入し、活性化を謳うことは可能なのか。実際にSEKAIHOTEL Fuseは商店街とどのような交流をしているのか。SEKAI HOTEL Fuseが行う活動icoimaはどのような効果をもたらしているのか。SEKAI HOTEL Fuseがリピーターを増やしていくためにはどうしていけばよいのか。3つのグループに分かれ、実際に布施を訪れ調査を行った。



SEKAI HOTELのビジョンは「No Borderな世界」。これを達成するために大切にしていることは大きく分けて三つあるのではないかと考えた。

一つ目は身体的な距離は離れていても心の距離は近くすることだ。心が温かくなる人とのふれあいをゲストにも体験してもらいたいという想いから、できる限り商店街へ繰り出してもらい、地域の人々とふれあう機会を作っている。また最高の旅の思い出を作ってもらうために全ゲストに対し宿泊前にヒアリングコールを行っており、一組一組に合った旅の形をSEKAI HOTELがカスタマイズしている。

二つ目は、環境へのインパクトを最小限にすることだ。最小限のアメニティといった手軽にできることだけではなく、空き家や元あるお店をリノベーションしてホテルの施設にするなどまちごと巻き込んだ取り組みも行っている。

三つ目は社会へのインパクトを最大限にすることだ。具体的にはSocial Good 200という取り組みを行っている。これは1泊につき200円を地域のための取り組みもしくは発展途上国への寄付へ充てる取り組みのことで、何に利用されるかはゲストが選択することができる。そして、SEKAI HOTEL Fuseは左図のように「まちごとホテル館内図」というものを作成しており、この地図に記載されている店は全て提携店となっている。このことから、SEKAI HOTELは人と人とのつながりを大事にしていることが分かる。

### フィールドワーク行程

- 13:45 布施駅集合
- 14:00~14:30 SEKAI HOTEL Fuseの客室見学
- 14:30~15:30 布施商店街の各店舗へインタビュー
- 15:30~16:30 SEKAI HOTEL Fuseのスタッフさんへインタビュー



チーム 和菓子と私たち

#### 課題設定①

SEKAI HOTEL Fuseは商店街の人、観光客に新しいつながりをもたらしたという点で、まちごとホテルとして機能しているのか。



コンセプト「“布施商店街”まちごとホテル」

商店街のお店を巻き込んだホテル(取り組み)である

SEKAI HOTEL Fuseによって商店街の店にも新たなつながりが生み出されているのでは？

#### 質問内容

- 〔店と店のつながり〕 SEKAIHOTEL Fuseができてから新たに関わるようになったお店はありますか。
- 〔店とお客さんのつながり〕 店に来るお客さんの数や年代に変化はありましたか。
- 〔店とSEKAIHOTEL Fuseのつながり〕 SEKAIHOTEL Fuseとパートナーシップを結んだきっかけはなんですか。

こぐま (七味屋、最近パートナーショップになった)

- 【SEKAI HOTEL Fuseとパートナーシップを結んだきっかけ】 SEKAI HOTEL Fuseのスタッフの人たちが挨拶をしてくれたり、目を合わせて話を聞いてくれたりしたことでSEKAI HOTEL Fuseに好感をもつようになった
- 【つながりについて】 SEKAI HOTEL Fuseとパートナーシップを結んでから他のお店と関わり始めたようなことは無い
- 以前からつながりがあった整骨院の人に海外からのお客さんに商品を売るときに見せるボードを作ってもらった
- SEKAI HOTEL Fuseのマップを持ったお客さんが来るようになった

笑福堂 (和菓子店、和菓子作り体験を実施)

【SEKAI HOTEL Fuseとパートナーシップを結んだきっかけ】

- 以前からつながりがあったお寿司屋さんからSEKAI HOTEL Fuseを紹介してもらい、パートナーシップを結ぶことを決めた

【つながりについて】

- SEKAI HOTEL Fuseとパートナーシップを結んでから他のお店と関わり始めたようなことは無い
- 若いお客さんが増えた
- SEKAI HOTEL Fuse側が紹介することで初めてつながるお店とお客さんがいる

SEKAI HOTEL Fuse

- SEKAI HOTEL Fuseの紹介で初めてつながるお店とお客さんがいる。
- 地元の人が観光客に侵食されて暮らしにくくならないために規模を大きくしすぎないようにしている。
- 外部から入ってきた者として以前からある店同士の関係性には干渉しない。

考察

- 商店街のお店に新たな観光客を呼び込んでいるという点でまちごとホテルとして機能している
- 商店街内では元々店同士のつながりが存在しており、このつながりがSEKAI HOTELとパートナーショップを結ぶきっかけになることがある。SEKAI HOTEL Fuseはその関係性を尊重しながら新たな繋がりを生みだしていた。まちが一体化するためにはお店の人々、観光客、住人の誰も欠かさず必要であることを意識したつながり作りをしているように感じられた。
- SEKAI HOTEL Fuseは商店街内の店同士のつながりについてはあまり関与してないことが分かった。また、世代交代がおけるとともに、現状強固に存在する店同士のつながりが失われることが予想できる。まちごとホテルとして機能するうえで、現存する関係性を尊重しながら次世代に向けた店同士のつながりを発展させていく必要がある。

2 回生 現シス 2 名、商 3 名

1 回生 商 3 名、経 1 名、文 1 名、工 1 名



チーム アボカドとみかん

課題設定②

SEKAI HOTEL Fuseが布施商店街にもっと受け入れられるためには「まじ友」が必要

理由：「まじ友」が商店街に金銭的、町おこしの利益をもたらすため



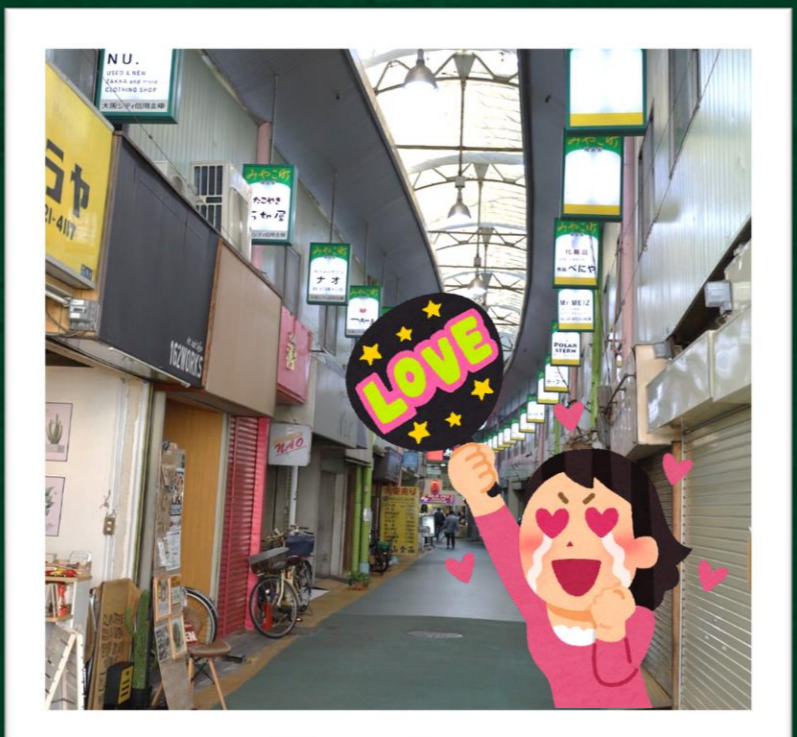
セカイホテルが布施商店街にどうやったらもっと受け入れられるんだろう？

セカイホテルの宿泊者が布施商店街のファンになってたくさん通ってくれたらいいんじゃない？  
友達みたいな距離感でいられたらいいな！



説明するワン！  
これからお店の人と友達くらい仲の良いお客さんを「まじ友」と呼ぶワン！

「まじ友」とは…  
布施商店街に魅力を感じて何度も来てくれる人。布施商店街とのつながりを持ってくれる人。  
(リピーターのように何度も同じ店や施設で同じ行動をする人ではない)



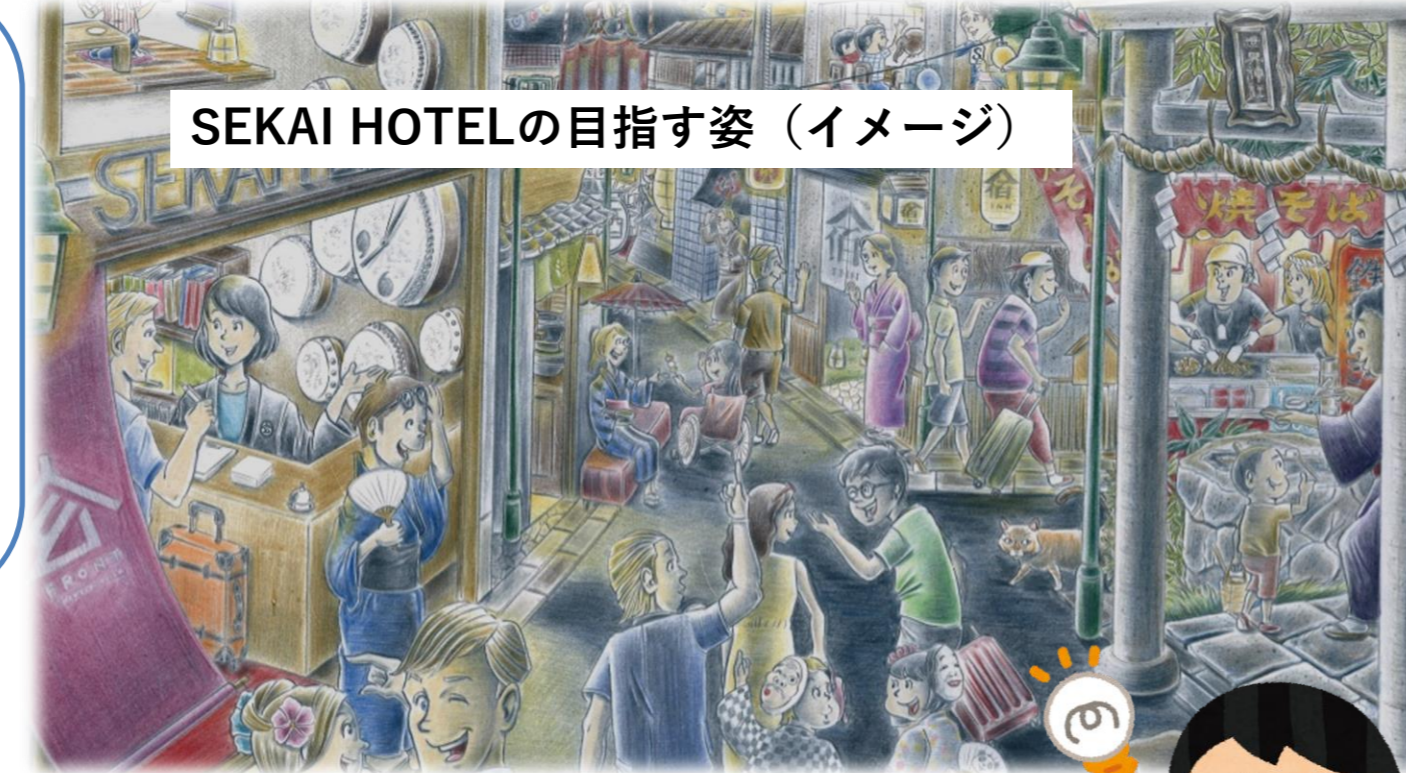
実際に行ってみないと机上の空論だよ！

SEKAI HOTELの目指す姿を教わるワン！



みかん1号

私たちはこの絵のような「No Borderな世界」を目指しています。国籍や障害の有無に関わらず、観光客も地元の人もお祭りの夜みたいに分け隔てなく集える場所、コミュニティです。地元の人や観光客、ホテルスタッフが対等な関係性で繋がりたいですね。



SEKAI HOTELの目指す姿（イメージ）

布施商店街がみんなであらゆる関係で集える場所になったら素敵！  
そのためにはやっぱりまじ友の存在が必要そうですね！



SEKAI HOTEL Fuse 小林さん

@立ち呑みおおにし



SEKAI HOTEL Fuseのお客さんが常連になったりとかありますか？

この間、初めてあったなあ。奈良から来たカップルが世界ホテル泊まった時に来て、気に入って次の週にまた来てくれたよ。

常連さんってやっぱり必要ですか？

やっぱり今まで買いに来てるお客さんが常連さんだから大事にしていきたいね。

@しげ美



SEKAI HOTEL Fuseのお客さんが常連になったりとかありますか？

いやあ、あたしのお客さんが多いし、SEKAI HOTEL Fuseの客はみんな若いからねえ、

どこからのお客さんが多いですか？

7割が地元の人とか、布施出身の人だね。

結論

今のSEKAI HOTEL Fuseの客層から考えると、まじ友は若者になりがちであるため、若者をターゲットとしないお店にとっては金銭的利益につながりにくい。そのため、SEKAI HOTEL Fuseが幅広い年齢層を確保できればまじ友の年齢層が広がり、より多くの人に受け入れられる！！

SEKAI HOTEL Fuseのお客さんは若い人が多いみたいだね！それも嬉しいことだけど、若い人があんまり来ないお店にとってはプラスに働かないのかな？



そうかもしれないね。SEKAI HOTEL Fuseがもっと受け入れられるためにはいろんな年齢層のお客さんが必要なんじゃないかな。

チーム 嵐

課題設定③

icoimaと商店街がお互いに高めあっているのではないか

「icoima」とは

SEKAI HOTEL Fuseが取り組んでいる「Social Good 200」という活動の1つ。宿泊客の方から頂いた宿泊代金のうち1泊あたり200円を積み立てて、それらを原資に地域の子どもたち向けに無料でイベントを行っている。誰かにとっての“居心地の良いと思える居場所”となり、分け隔てのない「No Borderなセカイ」になるのではないかとこの思いからSEKAI HOTEL Fuseでは子どもたちのつながりが増える『icoima』を実施している。



<icoimaに協力している店舗への質問>

- 1 なぜ協力しようと思ったのか。
- 2 どこに魅力があるか。
- 3 SEKAI HOTEL Fuseが来て変わったことは何ですか。

<回答>

鶴屋

- 1 子どもが楽しめるのはいいことだと思う。馴染みのないひとがきてくれることは嬉しく、商店街の活性化にも繋がっているのではないかな。
- 2 催しごとであることや、子供が中心となる活動であることはいいことだと思う。
- 3 布施の認知度が上がったと思う。新しい試みはいい事だと思う。



丸幸水産

- 1 困っている人を助けるのは当たり前。
- 2 子どもがいろいろなことに触れられるのはいいことだと思う。
- 3 何も変わっていない。商店街という元々の土台があるのが前提で、そこからきっかけを作ってくれたと思う。



<SEKAI HOTEL Fuseの方への質問>

- 1 icoimaを行ううえでの工夫

<回答>

子どもにフォーカスを当てる、親より子供。異文化交流が軸である。icoimaに来てた子が運営に回ってきてくれるようになったら嬉しいと思う。

<icoimaに参加している店舗への質問>

- 1 参加しようと思ったきっかけ
- 2 リピートする理由
- 3 どこに魅力があるか
- 4 セカイホテルが来て変わったこと

<回答>

三ツ矢蒲鉾本舗

- 1 スタッフさんによる声掛けがあったこと。
- 2 年がバラバラで、普段見れない子供の顔が見られるから。
- 3 みんなが楽しそうで、毎回異なるジャンルのイベントが行われているところ。
- 4 旅行で外国からも来てくれる人がいるし、発見してもらえてうれしく、いい方向なのではないか。



2 回生 現シス 2名、商 3名

1 回生 商 3名、経 1名、文 1名、工 1名